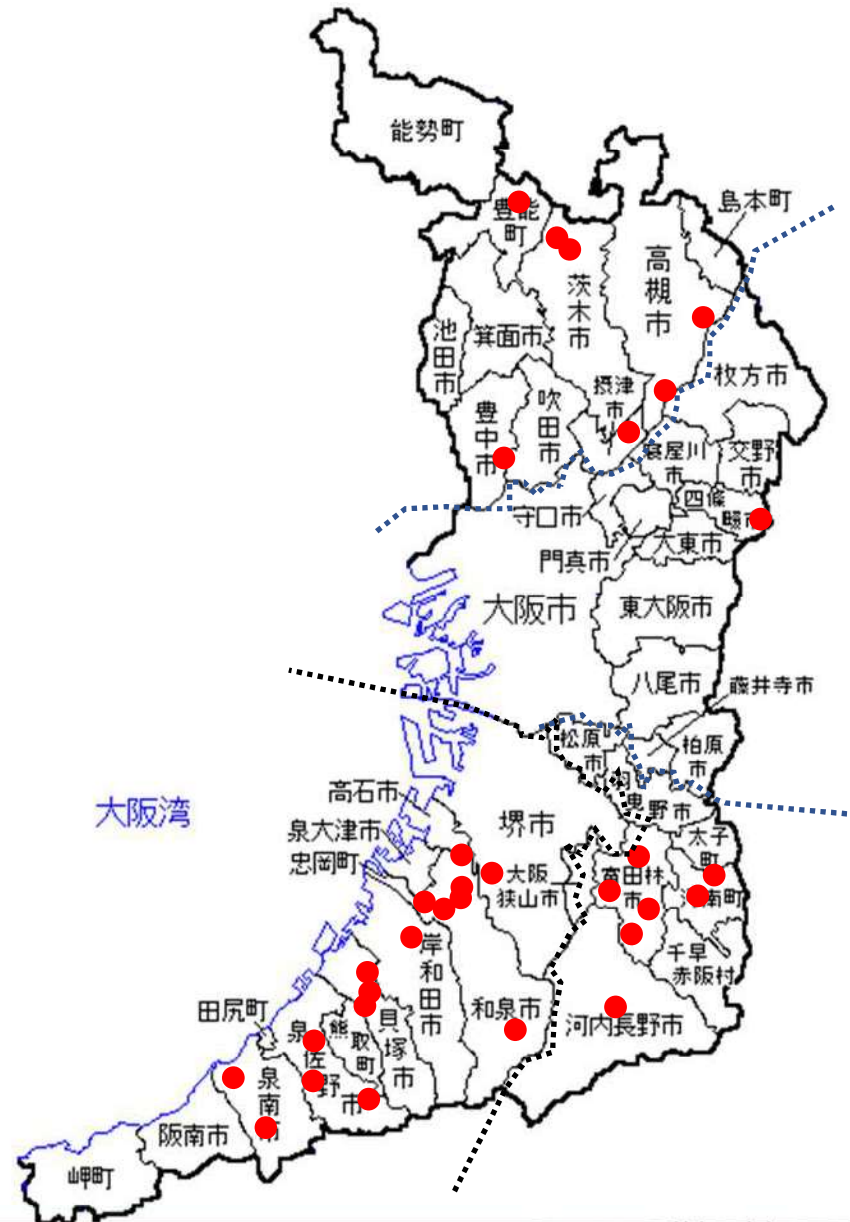


令和3年度継続地区(農地維持活動のみ)



イベントや景観形成による地域のつながりの構築

サンガマキチクノウクウカンホゼンキョウギカイ (オオサカフタカツキシ)
三箇牧地区農空間保全協議会 (大阪府高槻市)

- 大阪府高槻市の南部に位置し、稲作のほか、市の特産品である「三箇牧トマト」やキャベツの生産が行われている。
- 地域住民とともに水稲耕作前の水田を活用したレンゲ栽培、休耕田を利用したコスモス栽培、緑化・花植活動等の様々な活動を行うことで、地域の景観形成を図るとともに、農空間の価値を認識してもらう都市交流活動を実施している。

【地区概要】

- ・取組面積
103.87ha (田100.6ha、畑3.3ha)
- ・資源量
開水路23.4km、農道10.9km
- ・主な構成員
農業者、自治会、小学校等
- ・交付金 3,083,500円 (R2)

活動開始前の状況や課題

- 大阪府高槻市の南部に位置し、稲作のほか、市の特産品である「三箇牧トマト」やキャベツの生産が行われている。
- 一方、農業者の高齢化や担い手不足により農業施設の維持管理や地域保全が課題となっている。



地域に広がる農地と三箇牧トマト

取組内容

- 地域の交流として、レンゲの里やコスモス栽培の場を一般開放することで、自然のふれあいを創出。
- 加えて、春に「チューリップフェスタ」、秋に「緑化フェスタ」を毎年開催している。



水路清掃



レンゲまつり



チューリップフェスタ



緑化フェスタ

取組の効果

- 地域の景観に関する意識が向上し、不法投棄などが少なくなった。
- 一般に公開する様々な取組により、広く交流が図られるとともに、農空間の保全につながっている。



花一杯運動



農業体験



地域とのつながり



地域を彩る景観

地区全体で農地を守り、遊休農地の発生防止と抑制を

都市的農業地域

とりかいはっちょうのうくうかんほぜんかつどういいんかい

鳥飼八町農空間保全活動委員会（大阪府摂津市）

- 大阪府北部の都市化が進む水田地帯。兼業農家の高齢化により、農地の休耕化が目立ち、遊休化が懸念されていた。
- 地区内の農地は地区で守ることを目的に、実行組合、自治会と連携し、水路や休耕地の草刈りを実施。高齢化等で手入れの行き届かない農地管理の補助を実施。
- これにより、地区内で農地の保全管理に取り組む意識が向上した。また、レンゲ米による景観づくりの取り組みも開始した。

【地区概要】

- ・取組面積9.32ha
(田9.25ha、畑0.07ha)
- ・資源量 開水路4.1km
- ・主な構成員 自治会、
土地改良区
NPO
- ・交付金 29.7万円 (R 2)
農地維持支払
資源向上支払 (共同)





活動開始前の状況や課題

- ほとんどが兼業農家であり、高齢化による休耕地（管理地）が徐々に発生。
- 誰かに任せたい、お願いしたいとの気持ちがあっても、人にはお願いできない雰囲気が地区内にあった。
- 活動開始前の地区内居住者の休耕地の面積は、H27年度は21筆で、8,437㎡。



活動開始前の休耕地

取組内容

- 水路の除草、清掃、簡易な補修等の管理を定期的実施。
- 休耕地の除草等管理を定期的実施。
- 景観づくりと化学肥料の低減を目的にレンゲ米の取組を実施。
- 学童の体験農園を地区内に設けて、田植え・稲刈りの体験学習に協力。

取組の効果

- 地区全体で、農地、農空間を守る意識が向上し、令和3年度には活動委員会として話し合いを行い、農空間づくり協議会の認定申請を行った。



- 取組み開始時には、実績がなかった利用権設定が10件、面積約60a成立し、遊休農地化、休耕地化を未然に防いだ。



景観形成活動による地域資源の維持管理

ぜにはらのうかうかんゆめ

いばらき

銭原農空間夢ファーム活動組織（大阪府茨木市）

- 本地域は、淀川北の大阪府北部に位置する茨木市の中でも最北部の山間部に位置しており、地区の大半は山林で、中央を流れる小河川に沿って傾斜の大きい棚田が残る農村地域である。加えて、農業耕作面積が1ha未満の農家が大半を占め、少子高齢化が進んでいるため、地域ぐるみで、農空間をまもる必要があった。
- 本取組により、地域間交流の促進が図られるとともに、農道や水路の維持管理のほか、植栽等による景観形成活動を通じて、地域住民の農村環境保全への意識の向上につながる。

【地区概要】

- ・ 取組面積
13.32ha（田13.0ha、畑0.32ha）
- ・ 農業用施設
開水路4.3km、農道3.6km
- ・ 主な構成員
自治会、個人等
- ・ 交付金 約396千円（R2）

活動開始前の状況や課題

- 少子高齢化による人手不足で水路の泥上げ、農地法面の草刈や植栽の維持管理にかかる負担が増大し、作業の継続が困難な状況であった。



【本取組の対象農地】

取組内容

- 水路の泥上げ、農道・農用地法面の草刈、ヒガンバナ球根の植付け等を共同活動として実施した。
- 自走式斜面用草刈機の導入により、作業者の安全と負担軽減を図った。



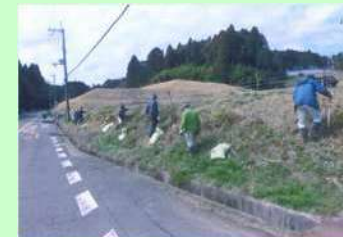
【役員会】



【法面の草刈】

取組の効果

- 水路・農道の保全管理とともに、幹線道路沿の法面植栽により、良好な環境を維持することができた。
- 取組により地域住民の農村環境保全への関心の向上につなげ、保全管理する人材の確保を行うことができた。



【景観形成活動】



景観形成活動による地域資源の維持管理

しもおとわ のうくうかん

いばらき

下音羽農空間まもろう活動組織（大阪府茨木市）

- 本地域は、淀川北の大阪府北部に位置する茨木市の中でも北部の山間部に位置しており、地区の大半は山林で、小河川に沿って傾斜の大きい棚田が残る農村地域である。加えて、農業耕作面積が1ha未満の農家が大半を占め、少子高齢化が進んでいるため、地域ぐるみで、農空間をまもる必要があった。
- 本取組により、地域間交流の促進が図られるとともに、農道や水路の維持管理のほか、アジサイによる景観形成活動を通じて、地域住民の農村環境保全への意識の向上につながる。

【地区概要】

- ・取組面積 7.34ha
(田7.24ha、畑0.1ha)
- ・資源量 開水路2.2km
農道 1.4km
- ・主な構成員 自治会、見山地区
都市農村交流活動推進委員会
- ・交付金 約219千円 (R02)

活動開始前の状況や課題

- 少子高齢化による人手不足で水路の泥上げや農地法面の草刈やアジサイの維持管理（剪定、植栽）にかかる負担が増大し、作業の継続が困難な状況であった。
- 獣害柵の老朽化により、獣害被害が増加し、営農意欲の減少につながるおそれがあった。



【本取組の対象農地】

取組内容

- 水路の泥上げ、農用地法面の草刈、アジサイの剪定や植栽、鹿侵入被害防止のための電気柵の点検及び設置を共同活動として実施した。



【法面の草刈】



【電気柵の設置】

取組の効果

【地域の景観を向上】

- 水路・農道とともに、アジサイを適正に管理し、良好な環境を維持することができた。
- 取組を通じ、地域住民の農村環境保全への関心の向上につなげ、保全管理する人材の確保を行うことができた。



【景観形成活動】

学校教育と連携した生態系保全

都市的地域

タカツキトウブノウクウカンマモロウカイ (オオサカフタカツキシ)

高槻東部農空間守ろう会 (大阪府高槻市)

- 大阪府高槻市の東部に位置し、稲作のほか、市街地への近接性を活かした朝市等も活発に行われている。
- 地元農家と自治会の協働による良好な営農環境の保全を通じて、多面的機能を有する農地と都市との共存を目的として学校と連携した地元小学生の農業体験のほか、水源である淀川河川敷のヨシ群を題材として生態系や水質保全について小学生に伝えている。
- 特定外来生物（ナガエツルノゲイトウ、オオバナミズキンバイ）の駆除に努める。

【地区概要】

- ・取組面積
39.89ha (田38.06ha、畑1.83ha)
- ・資源量
開水路15.2km、農道3.7km
- ・主な構成員
農業者、自治会、小学校等
- ・交付金 1,178,400円 (R2年度)
〔 農地維持支払 〕

活動開始前の状況や課題

- 農業者の高齢化や担い手不足により農業用施設の維持管理や地域保全の負担が増加している。
- 良好な営農環境の維持等について、都市住民の理解を得ることが課題となっている。
- 特定外来生物が水路等に繁茂するようになっている。

地域の状況



取組内容

- 地区内小学校において、水路・ため池の生き物調査や水質調査等の調べ学習への協力や、学習田・じゃが芋掘りなどの体験を通して、農業に親しむ機会を作っている。
- 水路・樋門周辺に繁茂する外来生物を、市の学芸員や市民ボランティアとともに除去作業を月2回ペースで行った。

田植え体験



取組の効果

- 地元農家と自治会の連携による水路の泥上げや草刈活動等により、営農環境が改善され、農地や水路の保全が図られた。
- 特定外来生物の定期的な見回り・除草作業を行うとともに除草シートを被膜することにより拡散を抑止し、生態系や農業への被害の低減につながっている。

外来生物
駆除風景





多面的機能の発揮の促進

山間農業地域

マキノウクウカンマモロウカイ オオサカフトヨノグントヨノチョウ
牧農空間まもろう会（大阪府豊能郡豊能町）

- 本地域は、大阪府の北部で京都府との境界に位置し、標高が高く昼と夜の温度差が多くあり、良食味米を生産している。一方水資源は厳しい状況にあるため今後とも農業振興を図るためには、農業用用水路を適切に保管理することが必要であるため、多面的機能支払交付金を活用し維持、改善を図る活動を実施。
- これにより、農地や里山、集落、ため池農業用用水路等が一体となった農空間は、農産物の生産、供給するだけでなく、快適な環境や美しい景観を創出するとともに、生き物の生息する場、レクリエーション、交流、学習等の場で、多面的機能を有していることに着目し活用を行っている。

【地区概要】

- ・ 認定農用地面積 16.47 ha （田16.47 ha）
- ・ 資源量 水路9.2km・農道8.7km・ため池5箇所
- ・ 主な構成員 農業者、地元住民・等
- ・ 交付金 494,100円（R2）

農地維持支払

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、大阪府の北部で京都府との境界に位置し、農地が広がりどかな集落をかたち作っている。傾斜地域でのどかな里山の素晴らしい景観を保っているが、ほ場整備をしていない農地や高齢化により一部遊休農地も発生しており、これを補正するための農業維持改善の取り組みを行うことが必要である。



取組内容

- 遊休農地の有効利用により、白菜、大根、サツマイモ等の収穫をした。
- 農業従事者及び地域住民等により遊休農地の再生や水路・ため池の泥上げや草刈等の保全活動を実施した。
- 秋祭りを都市住民と開催し、23名が参加し農村文化の伝承を通じ交流を図った。



取組の効果

- 棚田保全活動に延べ人数120人以上が参加し、遊休農地の改善を図った。
- また、農業従事者や地域住民による水路・農道・ため池の適切な保全が図れた。
- 都市住民との交流を通じた地域の活性化が図れた。



遊休農地再生後

ため池整備後



農地維持活動・景観形成への推進

はま

浜農空間まもる会（大阪府豊中市）

- 全域市街化区域の豊中市において、比較的農地が一团となりまとまっている地域。
生産緑地と市街化区域農地が混在し、主に水稻を栽培。
- 都市部の農地であるため、自家消費農家が大半を占めるが、エコ農産物の生産や地元で採れた農作物による食育イベントなどを実施。
- 景観作物の栽培・啓発活動により、住民の都市農業への理解を促進。

【地区概要】

- ・取組面積 3.57ha
(田2.44ha、畑1.13ha)
- ・資源量 開水路 3.1km、
農道 1.7km
- ・主な構成員 農業者
社会福祉団体役員等
- ・交付金 約96千円（R02）

活動開始前の状況や課題

- 全域市街化区域のため、混住化が進む。
- 相続等のため、農地転用が発生し、対象農地が減少。
- 農業施設の維持管理に関する、都市住民の理解が希薄。

取組内容

- 主に農業用水路の清掃活動。
- 景観作物植栽と啓発活動。
- 農道の草刈り。



取組の効果

- 従前の活動を維持しつつ、周辺住民の参加により農業への関心が高まった。
- 地元で採れた農作物による食育イベント等を今後も展開し、都市農業の重要性をPRしていく。



農地保全意識向上の推進

都市的農業地域

たわら さとまも かつどうそしき しじょうなわて
田原の郷守る活動組織（大阪府四條畷市）

【地区概要】

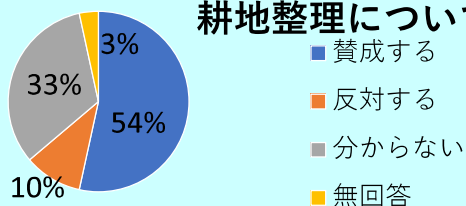
- ・取組面積25.58ha
（田20.64ha、畑4.94ha）
- ・資源量 開水路12.5km
パイプライン1.3km
農道4km
ため池6箇所
- ・主な構成員 農業者、土地改良区
- ・交付金 約718千円（R03）

- 田原の郷守る活動組織の活動地域は、大阪府東部に位置する標高120m～270mの耕地であり、農業者は、ため池の水を利用して稲作をしている。今後、農業振興を図る上で、農業用排水路の保安全管理や、危険地区の清掃等が必要となってくるが、農業者の高齢化や担い手不足などにより農業者が減少する等、多くの課題を抱えている。
- 交付金を活用し、地域住民と協力して、農道の草刈りや農道の保全、また、業者へ委託し危険な場所の補修を行い、効率よく農作業ができる環境を整えた。

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、土地の性質上、がけや急坂の法面が多く存在し、周辺を流れる農業用水路が手入れしにくい場所であることから、農作業に影響を与えていた。
- 農業者の高齢化に伴い、手入れが可能な範囲の減少、また、農業者数の減少により、農業者だけで全ての作業を行うことが難しい状態となっていた。
- 活動組織の会員を対象としたアンケートを実施し、今後についての意向調査を行った。

耕地整理について



取組内容

- 交付金を活用することで、今まではあまり手の届かなかった箇所や、金銭面で負担が大きく、対処が難しかった地区についても作業を行うことができた。

【作業前】



【作業後】



取組の効果

- 農道の草刈及び整備に50人が参加し、農道の保全を促進を図った。
- 水路清掃の活動に46人が参加し、溝の泥上げや草刈り等を行い、農地維持に努めた。



地域とNPO法人との連携による里山空間の回復

そして

惣代地区農空間保全協議会（大阪府河内長野市）

- 大阪府南東部に位置し、市域の7割が森林で住宅団地が隣接する里山に囲まれた自然豊かな谷あいの米作地域。高齢化の進行と鳥獣被害の増加により耕作放棄田が増え、農村景観が失われつつあった。
- 平成28年度から多面的機能支払い事業に取り組み、農道や水路の保全管理と農道・生活道路の草刈り、イノシシ対策として防護フェンスや捕獲おりの設置管理を非農業者も含め地域ぐるみで実施し、地域資源と自然の豊かさを後世に残すための活動を積極的に展開。
- 本地域を活動拠点としているNPO法人里山ひだまりファームとの連携で新たな農業の展開が図られている。

【地区概要】

- ・ 取組面積9.86ha
(田9.15ha、畑0.71ha)
- ・ 資源量 開水路3.4km、
パイプライン0.1km、
農道2.5km
- ・ 主な構成員 農家、NPO法人等
- ・ 交付金 約29万円 (R02)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は市域の中山間部に位置し、稲作を中心としたのどかな棚田風景が続き周辺住民の癒しの場になっている。
- 農業者の高齢化等により耕作されていない農地が増加するなど、風情ある農村景観が失われつつある。
- また、10年程前から鳥獣による農作物被害が増加し、農業環境保全等の課題解決にも取り組む必要性がある。

空から見た惣代地域



稲作風景



取組内容

- 平成28年度から多面的支払い交付金を活用し、イノシシ対策として防護フェンス張りや捕獲おりをNPO法人と共に設置。
- 農道や生活道路の草刈りを自治会と連携し、地域ぐるみで環境保全を実施。
- NPO法人里山ひだまりファームの活動を通じ、農地の補修等を計画的に実施し、環境保全が図られている。

防護フェンス張り



捕獲おりの設置

農地の給排水整備



生活道路の草刈り

取組の効果

- 鳥獣被害防止対策活動のフェンス張り作業と捕獲おりの設置で（10人参加）、地域の環境保全に係る施設が一步前進。
- 農道等の草刈り作業（24人参加）を実施したことで、これらの活動を通じ、地域のコミュニティーの活性化にも寄与。
- NPO法人里山ひだまりファームと共に農業や里山保全活動など、里山生活への関心を高めるための農業体験事業を実施。継続的に取り組むための基盤ができた。

棚田の夕暮れ



稲刈り体験





都市住民との共同で資源保全

平地農業地域

かなんせいぶのうくうかんほぜんきょうぎかい おおさかふみなみかわちぐんかなんちょう

河南西部農空間保全協議会（大阪府南河内郡河南町）

- 河南西部農空間保全協議会は、平成16年度に完成した農地開発区域内で活動している。
- この活動により、施設の維持管理が活動開始以前は土地所有農家のみであったものが、平成28年度には都市住民の体験農園者も作業に参加することになり、所有者の3倍の人数で維持管理することになった。
- これにより、水路の土砂上げで終わっていたものが、点検まで行き届くようになった。

【地区概要】

- ・取組面積47ha
(田7.5ha、畑39.5ha)
- ・資源量 開水路7.7km、
パイプライン10.1km、
農道3.4km
- ・主な構成員 土地改良区、農事
組合法人、自治会
水利組合
- ・交付金 約102万円 (R02)

キーワード

地域資源の
保全管理

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、昭和57年から実施した農地開発事業の区域で実施しているため基盤整備は出来ているものの、当初に出来上がった施設の老朽化が目立ち始めてきている。
- また、土地所有者の高齢化、後継者の農業に対する意識の希薄などが問題となっていた。

陥没している農道



土砂が堆積した水路

取組内容

- 水田には水利組合があり、定期的に維持管理出来る組織があるが、畑地には組織が無いため他人任せになっていた。そこで、畑地にも管理組織を作り対象者全員で維持管理するように取り組んだ。
- 高齢土地所有者の農地や耕作管理が出来ない農地を都市住民に体験農場として貸出、遊休農地の未然防止とした。

畑灌漑部会区画表



都市住民による
体験農業

取組の効果

- 畑地に管理組織を発足させたことにより農業に無関心な後継者も水路清掃に参加することで農空間の保全への関心を高めている。
- 水路清掃箇所を細分化したことにより農家の分担は増えたが、その分体験農園に参加している都市住民も清掃に加わることで絆が深まった。
[参加者 当初約75名 現在 約250名]

土地後継者も参加した
清掃活動



都市住民も参加した
清掃活動



集落営農から未来へ継承

平地農業地域

キーワード

地域資源の
保全管理

はただかんのうかい おおさかふみなみかわちぐんかなんちょう)

畑田寛農会（大阪府南河内郡河南町）

○畑田寛農会は大阪府の東南部に位置し、大阪市内へは車で約40分で行ける地域にある。

○活動開始以前は、施設の維持管理が中心であったが、21年頃から各自農機具を持ち寄り、遊休農地の解消に取り組んできた。25年度に寛弘寺地区営農協議会を立ち上げ、近畿農政局からの交付金を得て学校教育との連携事業（収穫体験・食育）も取り入れ活動を展開。27年度から同交付金を活用し、継続的な維持管理と学校教育との連携事業を拡大している。

【地区概要】

- ・取組面積9.4ha
(田7.4ha、畑2ha)
- ・資源量 開水路6.1km、
農道1.5km
- ・主な構成員 自治会、
老人クラブ、
水利組合、
農業者
- ・交付金 約26万円 (R02)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、水田を中心に営農が盛んな地域である。また、いちじくの産地でもあり全国にも出荷している。
- しかし、後継者不足、遊休農地の発生予想など問題に直面するも、費用の捻出・営農者の確保が課題となる。



川の中にある揚水口



遊休農地になる恐れの農地

取組内容

- 現役農家を中心に活動を行いながら、人出不足分を定年退職した非農家に営農指導を行い一級農家に育成。
- 遊休農地の未然防止策として、学校教育との連携事業に活用。（玉ねぎ・じゃがいも・さつまいもの収穫、芋煮会の開催）



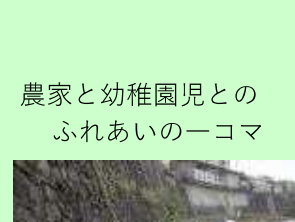
非農家による水路清掃



学校教育との連携による

取組の効果

- 水路の維持管理等にも非農家が参加するようになり、一人当たりの労力が低減。
- 遊休農地の未然防止策で活用する農地（学校教育に使用）が初年度の20aから3年で80aに拡大。
- 食育を通じて子供達に農空間の大切さを継承し、未来の農家を育成中!!



農家と幼稚園児とのふれあいの一コマ



農家と非農家の共同で水路清掃を実施



きたかのうちくのうくうかんほぜんきょうぎかい おおさかふみなみかわちぐんかなんちょう

北加納地区農空間保全協議会（大阪府南河内郡河南町）

- 北加納地区農空間保全協議会は、農業者の高齢化・後継者不足による農地維持活動等の継続の課題を解消することを目的に、令和3年度より本交付金による取組を実施。
- 本地域は、土地改良事業により整備された良好な農地において農作物を生産している。今後の農業振興を図るためには、農業用排水施設、農業用道路、その他農地の保全又は利用上必要な施設を適切に保全管理することが必要である。
- 良好な営農環境を保全していくため、農業者や地域住民が連携した農地維持活動又は資源向上活動を通じ、地域資源、農村環境の保全及び農地の利用促進を図る取組を進めていく。

【地区概要】 ※R3年度時点

- ・認定農用地面積8.3ha
（田7.9ha、畑0.4ha）
- ・資源量 水路4.5km
農道2.4km
- ・主な構成員 自治会、水利組合、
農業者
- ・交付金 約25万円（R3）

〔 農地維持支払
資源向上支払（共同） 〕

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、昭和60年代より2期にわたりほ場整備を実施し、良好な営農環境の整備とその利用・保全が行われている。
- しかし、農業者の高齢化・後継者不足が進んでおり、将来に渡って営農環境を保全していくための農地維持活動等の継続が課題となっている。

高齢者による活動



取組内容

- 農業者や地域住民が連携した農地維持活動又は資源向上活動を通じ、農用地、水路、農道等の地域資源、農村環境の保全及び農地の利用促進を図る。
- 活動においては、非農家にも維持活動指導を行うとともに、新規農業者の募集を行う。

維持活動指導



取組の効果

- 農地維持活動や資源向上活動にも非農家が参加するようになるとともに、今年度から新規農業者が3名加わることになり、1人当たりの労力が大幅に低減となった。

非農家も含めた活動



新規農業者も含めた活動



地域住民との連携による農空間保全

すが

須賀地区農空間づくり協議会（大阪府富田林市）

- 大阪府富田林市の西部に位置する農業振興地域でもあり、地元の実行組合、水利組合を中心に池や水路の保安全管理を進めている。
- 須賀地区農空間保全協議会は令和2年の設立であり、農地利用促進や農空間の保全を図る須賀農空間づくり協議会とも連携している。
- 遊休農地を活用した景観作物の植栽などによる農村環境保全活動を地域住民と取り組んでいる

【地区概要】

- ・取組面積
6.39ha（田5.65ha、畑0.74ha）
- ・農業用施設
開水路3.5km、農道2.5km
ため池5カ所
- ・主な構成員
水利組合、連合町会、企業等
- ・交付金 184千円（R3）

活動開始前の状況や課題

○大阪府富田林市の西部に位置する農業振興地域でもあり、地元の実行組合、水利組合を中心に池や水路の保安全管理を進めている

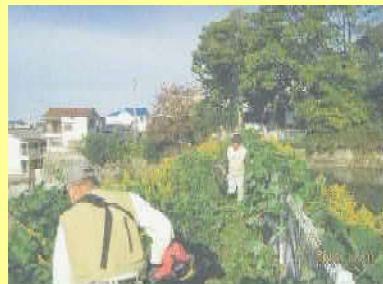
○高齢化や後継者不足、及びそれに伴う休耕地の増加が課題。

○地区の方針として、農地の保全、維持管理のためにも、農地の貸借が進められている。



取組内容

○農業者と地域住民の協働により、水路の草刈りや泥上げ、ため池、ポンプ等の施設の草刈りを実施



○保全活動や営農にかかる講習会を実施



取組の効果

○地域協働による水路等施設の維持管理の実施により、営農環境の改善と、農業者の負担軽減が見込まれる。

○地域住民の農業への理解や、農空間の保全への理解が得られ、地域の意識の向上につながる。



イベントや景観形成等を通じた交流活動の展開

とうじょう

東条農空間保全協議会（大阪府富田林市）

- 本地区は、農地開発事業により整備され、野菜生産団地の形成につながっている。水利関係の維持管理や農業環境の保全活動を行っているが、農家の高齢化に伴い、遊休農地が増えることが予想される。
- 全小学校と連携してさつまいも掘り等の体験学習を実施するなど、地域環境の保全と都市住民との交流に取り組んでいる。
- この活動を通じて、都市住民との交流に取組みながら、良好な農業基盤・農環境である地域資源の保全向上を図っていく。

【地区概要】

- ・取組面積
57.4ha（田12.5ha・畑44.9ha）
- ・資源量
開水路19.3km、パイプライン10.9km
農道13.2km、ため池4箇所
- ・主な構成員
農業者、JA、PTA、土地改良区
その他5団体
- ・交付金
約127万円（R03）

活動開始前の状況や課題

- 本地区は、はくさい、たまねぎ等の周年栽培が盛んである。水路やポンプ施設が多いため、水利関係を重点的に維持管理している。しかし、農業の後継者不足により、遊休農地の増加が予想される。



取組内容

- 地域内の農業者が連携し、広範囲に及ぶ水路の清掃、草刈り等を実施



共同草刈り

- 地元の小学生を対象にした農業体験学習（さつまいも掘り）を実施
※今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止

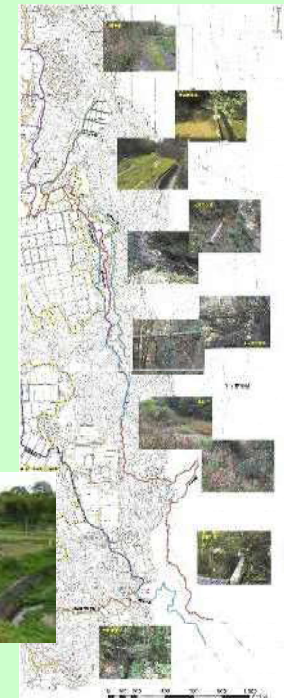


取組の効果

- 活動エリア東部を中心に水路の清掃、草刈り等を実施したことにより、施設が適正に維持管理され、営農環境の改善が見込まれる。



水路の泥上げ



子ども達の農業体験学習等を通じた活動の展開

うれし

嬉農空間保全協議会（大阪府富田林市）

- 本地区は、農村コミュニティが残るなか、農地保全の強い意識をもっている。しかし、農家の高齢化とともに、遊休農地化が今後進むことが懸念される。
- 小学校や保育園等と協力して農業の体験学習等を実施するとともに、休耕地を活用した農薬や肥料を使用しない自然農法を都市住民も参加して実践している。
- この活動を通じて、農業景観を次の世代へつなげていくため、地域共同で農空間の保全に取り組む意識の向上を図っていく。

【地区概要】

- ・取組面積
14.1ha（田13.5ha、畑0.6ha）
- ・資源量
開水路24.0km、農道19.5km、
ため池4か所
- ・主な構成員
農業者、町会、農業実行組合、
- ・交付金
約41万円（R03）

活動開始前の状況や課題

○本地区は、水資源に恵まれ、良質な米を生産しており、良好な景観（環境）を維持しようという気運が高い。しかし、農業後継者の目処が立っておらず、遊休農地化が今後進むことを懸念している。



○また、休耕地を活用して、農薬や肥料を使用しない自然農法を都市住民も参加のもと実践し、協働型の農地保全の取り組みを進めている。



取組内容

○地元小学生や保育園児等を対象とした体験学習を実施

田植え体験



稲刈り体験



取組の効果

○幼稚園、保育園、小学校から249人が農業の体験学習に参加し、作業の大変さや収穫の嬉しさなど、農業の理解増進につながった。



レンゲの摘みとり

○約1haの農地において、自然農法を実践し、農業体験によって農家を目指すきっかけづくりと農地の保全活用を図ることができた。

地域住民との連携による農空間保全

キシチクノウクウカンホゼンキョウギカイ (トンダバヤシシ)
喜志地区農空間保全協議会 (富田林市)

- 大阪府富田林市の北部に位置し、市街化区域でもあり、土地改良区を中心に池や水路の保全管理を進めている。
- 喜志地区農空間保全協議会は令和元年の設立である。
- 学校と連携した地元小学生の農業体験のほか、遊休農地を活用した景観作物の植栽などによる農村環境保全活動を地域住民と取り組んでいる。

【地区概要】

- ・取組面積
22.8ha (田16.6ha、畑6.2ha)
- ・農業用施設
開水路10.6km、農道5.1km
ため池11カ所
- ・主な構成員
土地改良区、水利組合、
実行組合、町会、小学校、
農協等
- ・交付金 662千円 (R3)

活動開始前の状況や課題

- 大阪府富田林市の北部に位置し、稲作や軟弱野菜中心の生産を行っている。
- 本地区は、特別に圃場整備を行うことなく先祖から受け継いだ農地の維持を行っているが、後継者不足が課題。
- 地区内の農業施設で不具合、老朽化、施設の補修が必要である。

地域の活動



取組内容

- 地元農家や自治会の協働による水路の泥上げや草刈りに加え、池の樋門補修に取り組んでゆく。
- 遊休農地を活用した景観作物の植栽などによる農村環境保全活動と地域住民との交流。
- 近隣小学校の5年生による田植え、稲刈り体験の実施。

収穫体験



取組の効果

- 地元農家と自治会の協働による水路の泥上げや草刈活動等により、農家の負担軽減と共に営農環境の改善が期待できる。
- 学校教育と連携した農業体験により、農業に対する理解の増進や啓発につながる。

施設の勉強会



地域住民との連携による農空間保全

なごせ

名越地区農空間保全協議会（貝塚市）

- 名越地区は、水利組合を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- H27年度に名越地区農空間保全協議会が設立され、多面的機能支払交付金の取り組みにより、自治会等、地域住民と連携した地域資源の保全管理が図られている。

【 地区概要 】			
取組面積	9.84ha	[田6.00ha	畑3.84ha]
農業用施設	開水路 2.0km 1.6km	パイプライン	
	農道 0km	ため池	4箇所
主な構成員	水利組合、実行組合、自治会		
交付金	256千円（R02）		

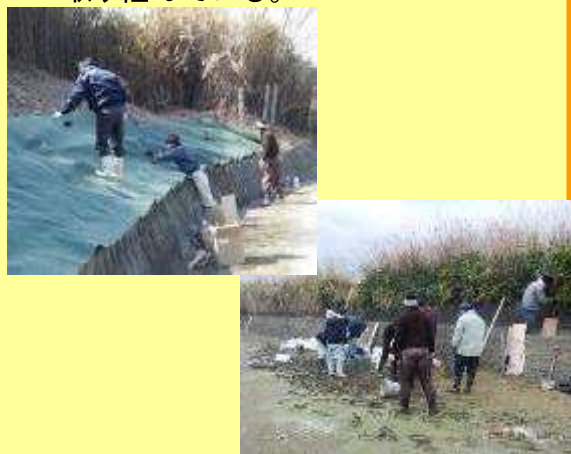
活動開始前の状況や課題

- 農業従事者の高齢化や後継者の減少により、一部で遊休農地が発生したり、今後の持続的な農地・農業用施設管理や営農環境の悪化が懸念されていた。
- 農業用施設の不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題となっていた。



取組内容

- 水路清掃活動や草刈りに加え、ため池附帯施設の補修や防草シート張り等を交付金を活用して実施し、維持管理の軽減および施設の長寿命化を図っている。
- れんげやコスモス等景観作物の植栽による地域住民との交流活動に取り組んでいる。



取組の効果

- 交付金を活用してきめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施されている。
- れんげやコスモス等の景観作物の植栽等による農村環境保全活動にも取り組み、地域ぐるみの農空間保全が図られている。



地域住民との連携による農空間保全

せちご

清見地区農空間保全協議会（貝塚市）

- 清見地区は、水利組合を中心に農地や水路、農道等の保安全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- H27年度に清見地区農空間保全協議会が設立され、多面的機能支払交付金の取り組みにより、自治会等、地域住民と連携した地域資源の保安全管理が図られている。

【地区概要】

取組面積	15.48ha	[田11.81ha	畑3.67ha]
農業用施設	開水路 3.6km 0km 農道 0.4km 所	パイプライン ため池	3箇所
主な構成員	水利組合、実行組合、自治会		
交付金	427千円（R02）		

活動開始前の状況や課題

- 農業従事者の高齢化や後継者の減少により、一部で遊休農地が発生したり、今後の持続的な農地・農業用施設管理が懸念されていた。
- 集落内で不法投棄が発生する等、景観や生活環境の悪化が問題となっていた。



取組内容

- 地域ぐるみの水路清掃活動や草刈りを交付金を活用して実施している。
- 遊休化が懸念される農地でジャガイモ栽培やコスモス植栽を行い、地域住民を対象とした収穫体験や花摘み会を開催する等、地域住民との交流活動に積極的に取り組んでいる。



取組の効果

- 交付金を活用した活動で地域共同活動がさらに盛んになったことで、営農意欲や遊休農地発生防止の機運が高まりつつある。
- ジャガイモ掘り体験やコスモスの花摘み会等の交流活動への地域住民の関心や期待は大きく、多数の参加があることで協議会メンバーの励みにもなり、地域ぐるみの農空間保全が図られている。



地域住民との連携による農空間保全

はしもと

橋本地区農空間保全協議会（貝塚市）

- 橋本地区は、水利組合を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- H27年度に橋本地区農空間保全協議会が設立され、多面的機能支払交付金の取り組みにより、自治会等、地域住民と連携した地域資源の保全管理が図られている。

【地区概要】

取組面積	11.29ha	[田8.16ha	畑3.13ha]	
農業用施設	開水路 3.9km	パイプライン 0km	農道 0.6km	ため池 4箇所
主な構成員	水利組合、実行組合、自治会			
交付金	307千円（R02）			

活動開始前の状況や課題

- 農業従事者の高齢化や後継者の減少により、一部で遊休農地が発生したり、不法投棄ゴミが増加する等、今後の持続的な農地・農業用施設管理や営農・集落環境の悪化が懸念されていた。



取組内容

- 交付金を活用して水路清掃活動や草刈り等の共同活動を強化し、農地・農業用施設の適正管理を図っている。
- コスモスを植栽し、地元保育園（橋本保育所）や地域住民との交流や遊休農地の発生防止活動に取り組んでいる。



取組の効果

- 交付金を活用した活動で地域共同活動がさらに盛んになり、遊休農地発生防止の機運の高まりにも寄与している。
- コスモスの植栽を通じた地域交流・農村環境保全活動にも取り組み、地域ぐるみの農空間保全が図られている。



地域住民・久米田池をまもる会との連携による農空間保全

くめだいけ

久米田池地区農空間保全協議会（岸和田市）

- 久米田池地区は、久米田池を水がめとし、全農地が市街化区域内に点在していることから、住宅地と共存しながら農業を営んできた。しかし、久米田池は「都市住民のオアシス」としての機能が重視され、農業用施設として生かしつつも、農地の減少が負担増となり、継続的な活動に支障が生じていた。
- 令和元年度に久米田池地区農空間保全協議会を設立し、土地改良区、久米田池をまもる会、学校、自治会等が連携し、農空間の保全と維持管理を図っている。

【地区概要】

取組面積	13.0ha	[田13.0ha	畑0.0ha]
農業用施設	久米田池		
主な構成員	土地改良区 久米田池をまもる会（会員98団体）		
交付金	390千円（R02）		

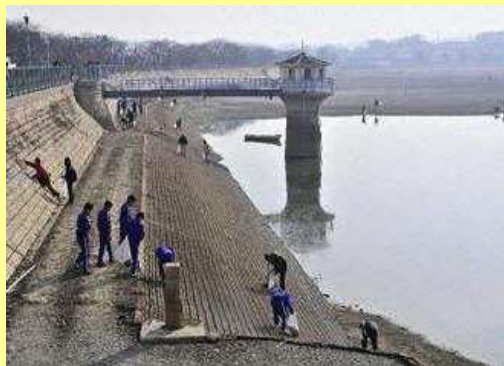
活動開始前の状況や課題

- ごみの不法投棄によるため池周辺環境の悪化が進むと共に、農家の減少と高齢化により農地の草刈りや水路清掃等が困難となってきている。
- 施設の維持管理や自然環境の保全が課題。



取組内容

- 土地改良区を中心に、自治会等と協働したため池の清掃活動、水路の泥上げを実施。
- 久米田池全体の景観及び環境保全活動として、ガマの花穂摘み取り作業や、遊歩道と西提公園の植栽活動の実施。



期待する取組の効果

- ため池や水路の清掃活動を自治会等と共に行うことで農家の負担軽減や営農環境の改善が期待できる。
- 地域住民との交流活動を通じて景観保全に対する意識が向上し、不法投棄が少なくなることが期待できる。



地域住民との連携による農空間保全

たいへいじ

太平寺地区農空間保全協議会（堺市）

○太平寺地区では、水利組合を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、農業従事者の高齢化や後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。

○令和2年度に太平寺地域農空間保全協議会が設立され、関係自治会、水利組合、JA、幼稚園、近隣高校等、地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】

取組面積	8.0ha	[田6.0ha	畑2.0ha]
農業用施設	開水路 3.1km 0.0km	パイプライン	
	農道 2.1km	ため池	2箇所
主な構成員	水利組合、自治会、農協、幼稚園 高校		
交付金	220千円（R2）		

活動開始前の状況や課題

- 従前より地元農家による営農が行われていたが、一部で遊休農地が発生したり、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題
- 農道・水路・ため池等、一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題



取組内容

- 草刈りや水路の泥上げに加え、農道の補修や水路の目地、ポンプ補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- 地元幼稚園（太平寺幼稚園）や近隣高校（福泉高校）との年間を通じた農業体験（田植え、稲刈り、芋作付け、芋掘り）等、都市農村交流にも積極的に取り組んでいる。



取組の効果

- 水利組合が中心となって老朽化した水路やため池施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。
- 太平寺幼稚園及び福泉高校の農業体験や収穫祭を地域農家と地域住民の共同により年間を通じて実施し、農業への理解促進、交流が図られている。



地域住民との連携による農空間保全

おおぎ

大木農空間保全協議会（泉佐野市）

- 本地区は、市の山間部に位置し、水資源に恵まれた自然豊かな米作地域であるが、高齢化の進行と鳥獣被害の増加により、耕作放棄田が増え、良好な農村景観が失われつつあった。
- 平成29年度に大木農空間保全協議会を設立し、地域住民及び地区内小学校が連携した地域資源の保全管理に取り組んでいる。

【地区概要】

取組面積	18ha	[田 18ha	畑0.00ha]	
農業用施設	開水路16.7km	パイプライン0km	農道 3.6km	ため池 10箇所
主な構成員	土地改良区、町会、小学校			
交付金	540千円			

活動開始前の状況や課題

- 市の山間部に位置していることから鳥獣被害が多発しており、耕作放棄地の拡大が懸念されている。
- 各地区の水利役員が中心となって、水路等の農業施設の維持管理を行っているが、後継者不足・担い手の減少による高齢化が進んでいる。



取組内容

- 町会・小学校と連携し、耕作放棄地を活用した農作物（さつまいも・大根）の収穫体験を実施
- 地域ぐるみで水路の草刈りや浚渫を実施し、施設の維持管理、長寿命化に取り組んでいる。



取組の効果

- 小学生及びその家族を対象とし、耕作放棄地を活用した農作物の収穫体験を実施することで、良好な景観を維持することができ、農業理解を示せた。
- 土地改良区が中心となって施設の点検を実施し、地域ぐるみで活動を行うことで地域住民の理解促進、交流する機会の創出に寄与している。



地域住民との連携による農空間保全

かみのごう

上之郷地区農空間保全協議会（泉佐野市）

- 本地区は、市の南西部に位置する水田地帯であり、地区内ではキャベツ・玉ねぎ・さといも主体の土地利用型農業を中心に、水ナス・ミニトマトなどの施設栽培もおこなわれている。
- 平成30年度に、地元町会と小学校、土地改良区で上之郷地区農空間保全協議会を設立し地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】	
取組面積	40.0ha [田 40.0ha 畑 0.00ha]
農業用施設	開水路5.4km 農道 3.7km パイプライン1.4km ため池 8箇所
主な構成員	上之郷町会、上之郷小学校、泉佐野市上之郷土地改良区
交付金	1,200千円

活動開始前の状況や課題

- 大規模農家などの若い担い手に営農をお願いしている方もいるが、地区全体としては農業者の高齢化や担い手不足が課題
- 農業用施設の不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題



取組内容

- ため池や水路、農道の草刈や泥上げなどの保全活動
- 町会と共同で水路の泥上げを実施
- 地元小学校と連携し、植栽等の活動を展開



取組の効果

- 草刈や泥上げなどの活動による施設の適切な保全・維持管理
- 町会と連携して維持管理活動を行うことにより、非農業者への普及・啓発が図られている



地域住民との連携による農空間保全

ながたき

長滝地区農空間保全協議会（泉佐野市）

- 長滝地区は、市の南西部に位置する市街化区域を含む平坦部であり、野菜栽培が盛んである。農用地については、水稲とともにキャベツ・たまねぎ等の土地利用型の露地野菜経営が行われており、野菜類の施設園芸も行われている。
- 令和2年度に長滝地区農空間保全協議会を設立し、土地改良区、近隣中学校及び町会等が連携し、地域資源の保全を図っている。

【地区概要】	
取組面積	80.00ha [田80.00ha 畑0.00ha]
農業用施設	開水路 20.6km パイプライン 12.3km 農道 20.3km ため池 6箇所
主な構成員	土地改良区、消防団、町会、小学校等
交付金	2,400千円

活動開始前の状況や課題

- 各地区の水利役員等が中心となって、水路等の農業用施設の維持管理に努めてきたが、後継者不足による高齢化等により負担が増大し、持続的な農地・農業用施設の管理が課題となっている。
- 農業用施設の老朽化が進み、施設の補修・長寿命化が課題。



取組内容

- ため池や水路の草刈り、水路浚渫、農道補修等を交付金を活用して実施し、施設の維持管理、長寿命化を図っている。
- 地域の消防団や町会、小学校等と連携して水路の泥上げや農業体験等を実施し、積極的に地域住民との交流を図っている。



取組の効果

- 土地改良区が中心となって施設の点検や補修を行い、計画的に農業用施設の保全管理が実施出来ている。
- 消防団や町会、小学校と連携して維持管理活動を行うことにより、非農業者への普及・啓発が図られている。



地域住民との連携による農空間保全

R3年度新規地区

おかもと

岡本地区農空間保全協議会（泉佐野市）

- 岡本地区は、市の南西部に位置する市街化区域を含む平坦部であり、野菜栽培が盛んである。水稻とともにキャベツ・ブロッコリーやほうれん草等の栽培が行われている。
- 令和3年度に岡本地区農空間保全協議会を設立し、水利組合、近隣中学校及び町会等自治会が連携し、地域資源の保全を図っている。

【地区概要】

取組面積	15.00ha	[田15.00ha	畑0.00ha]
農業用施設	開水路 4.2km	農道 1.3km	ため池 1箇所
主な構成員	水利組合、中学校、町会等		
交付金	450千円		

活動開始前の状況や課題

- 各地区の水利役員等が中心となって、水路等の農業用施設の維持管理に努めてきたが、後継者不足による高齢化等により負担が増大し、持続的な農地・農業用施設の管理が課題となっている。
- 農業用施設の老朽化が進み、施設の補修・長寿命化が課題。



取組内容

- ため池や水路の草刈り、水路浚渫、農道補修等を交付金を活用して実施し、施設の維持管理、長寿命化を図っている。
- 地域の消防団や町会、中学校等と連携して水路の泥上げ等を実施し、積極的に地域住民との交流を図っている。



取組の効果

- 水利組合が中心となって施設の点検や補修を行い、計画的に農業用施設の保全管理が実施出来ている。
- 消防団や町会、中学校と連携して維持管理活動を行うことにより、非農業者への普及・啓発が図られている。



地域住民との連携による農空間保全

むつお

六尾農空間維持保全ふれあい促進会議（泉南市）

- 六尾地区は、H20年度にほ場整備事業が完了し、地元農家を中心に、農地や水路、農道等の保安全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- H28年度に六尾農空間維持保全ふれあい促進会議が設立され、地域住民と連携した地域資源の保安全管理が図られている。

【地区概要】		
取組面積	10.81ha	[田9.63ha 畑1.18ha]
農業用施設	開水路2.8km 農道 1.2km	パイプライン0km ため池 7箇所
主な構成員	六尾区（区長等）	
交付金	312千円	

活動開始前の状況や課題

- H20年度にほ場整備が完了し、地元農家による営農が行われていたが、一部で遊休農地が発生したり、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の維持管理が課題である。
- ほ場整備の完了から10年以上が経過し、一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題である。



取組内容

- 草刈りや水路の泥上げに加え、農道舗装の補修や水路付帯施設の補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- 府・市と連携した水田貯留対策のモデル地区として、大雨時の下流への浸水被害軽減や農地の保全のため、地区内の水田で水田貯留の実証実験に取り組んでいる。



取組の効果

- 地元農家が中心となって、きめ細やかな施設の軽微な補修に取り込むことにより、計画的に農業用施設の保安全管理を実施。
- 交付金の共同活動の強化や水田貯留等の取り組みを通じ、地域ぐるみでの農空間保全の機運が高まっている。また、本地区における水田貯留の実証実験により、大雨時の浸水被害の軽減効果を示すことができれば、府下の他地区での取り組みにも繋がることも期待できる。



地域住民・学校教育との連携交流による農空間保全

おのさと

男里地区農空間保全協議会（泉南市）

- 男里地区では、土地改良区を中心に農地や水路、農道等の保安全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- H28年度に土地改良区、近隣小学校により男里地区農空間保全協議会が設立され地域住民と連携した地域資源の保安全管理を行っている。

【地区概要】

取組面積	11.04ha	[田11.04ha	畑0.00ha]	
農業用施設	開水路4.5km	パイプライン0km	農道 0.7km	ため池 2箇所
主な構成員	土地改良区、泉南市立雄信小学校			
交付金	331千円			

活動開始前の状況や課題

- 双子池を水源とし水稻を中心にキャベツ、里芋などの作付を組み合わせた農業がおこなわれている地域であるが、一部で遊休農地が発生したり、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の維持管理が課題である。
- 地区内の一部農業用施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題である。



取組内容

- 草刈りや水路の泥上げに加え、農道舗装の補修や水路附帯施設の補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- 協議会構成員でもある稲作等体験支援隊により地元小学校（雄信小学校）の年間を通じた農業体験等の交流活動にも積極的に取り組んでいる。



取組の効果

- 土地改良区が中心となって、きめ細やかな施設の軽微な補修に取り込むことにより、計画的に農業用施設の保安全管理を実施。
- 雄信小学校の生徒による農業体験を地域農家の指導により年間通じて実施し、子どもの地域農業への理解促進、交流が図られている。



地域住民との連携による農空間保全

くろとり

黒鳥地区農空間保全協議会（和泉市）

○黒鳥地区では、毎年地元水利組合員にて農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年組合員の高齢化及び後継者不足により負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。

○令和2年に、地元実行組合と関係自治会で黒鳥地区農空間保全協議会を設立し、地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】

- 取組面積
14.81ha(田7.7ha、畑7.11ha)
- 農業用施設
開水路1.9km、農道2.3km
ため池3箇所
- 主な構成員
自治会等
- 交付金 373千円(R2)

活動開始前の状況や課題

○以前から地元農家による営農が行われていたが、高齢化により担い手の減少、後継者不足等により今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題。



取組内容

- 溝さらえや草刈等を自治会等と共に行っている。
- 黒鳥小学校の農業体験(野菜の栽培、稲刈り)等交流活動による地域住民の理解促進に取り組んでいる。



取組の効果

- 溝さらえや草刈等を自治会等と共に行うことにより、担い手の負担軽減及び地域住民との交流が図られ、農地や施設への理解が進む。
- 黒鳥小学校の児童による農業体験を実施することにより、地域の農産物に触れることで子供の地域農業への理解促進に寄与している。



地域住民との連携による農空間保全

うえだい

上代町農地・緑地を守る会（和泉市）

- 以前より年に2回程度、農業者や自治会等との共同活動により水路等の溝浚えや草刈を行ってきたが、近年、施設の老朽化や後継者の減少により、継続的な活動に支障が生じていた。
- 平成27年度に、水利組合と実行組合、関係自治会、土地改良区で上代町農地・緑地を守る会を設立し地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】		
取組面積	10.27ha	[田7.49ha 畑2.78ha]
農業用施設	開水路 4.0km 農道 3.5km	パイプライン0km ため池 2箇所
主な構成員	実行組合、水利組合、自治会、土地改良区役員	
交付金	280千円（R02）	

活動開始前の状況や課題

- これまで、年2回程度の活動は地域住民と連携して行ってきたが、老朽化した施設の補修等は、農業者のみで行っており、後継者不足による持続的な農地・農業用施設の管理が課題。
- 農業用施設の不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題。



取組内容

- 溝さらえや草刈りに加え、農業用施設の補修や保守点検を交付金を活用して直営施工により実施し、施設の長寿命化を図っている。
- JAが行う地元小学校（鶴山台北小学校）の農業体験（田植え、稲刈り、収穫米を用いた収穫祭）等に参加し、交流活動による地域住民の理解促進に取り組んでいる。



取組の効果

- 直営施工で施設の軽微な補修に取り組むことにより、より効率的に交付金を活用して農業用施設が保全管理されている。
- 鶴山台北小学校5年生約60名の農業体験を地域農家の指導により年間を通じて実施し、こどもの地域農業への理解促進、交流に寄与している。



地域住民との連携による農空間保全

いちのい

一之井水利グループ（和泉市）

- 一之井地区では、毎年地元水利組合員にて農地や水路、農道等の保全管理をすすめてきたが、近年組合員の高齢化及び後継者不足により、負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- 平成27年度に、地元水利組合と関係自治会、土地改良区で一之井グループを設立し地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】

取組面積	18.33ha	[田12.62ha	畑5.71ha]	
農業用施設	開水路7.2km	パイプライン0km	農道 0.3km	ため池 0箇所
主な構成員	水利組合、自治会、土地改良区役員			
交付金	492千円（R02）			

活動開始前の状況や課題

- 以前より地元農家による営農が行われていたが、高齢化により担い手の減少、後継者不足等により今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題。
- 周辺の宅地が進んでいる地域もあり、住民の農地や施設への理解が進んでおらず、苦情等が増加している。



取組内容

- 溝さらえや草刈り等を、自治会等と共に行っている。
- JAが行う地元小学校（北池田小学校）の農業体験（田植え、稲刈り、収穫米を用いた収穫祭、しめ縄作り）等に参加し、交流活動による地域住民の理解促進に取り組んでいる。



取組の効果

- 溝さらえや草刈り等を、自治会等と共に行うことにより、担い手の負担軽減及び地域住民との交流が図られ、農地や施設への理解が進む。
- 北池田小学校5年生約130名の農業体験を地域農家の指導により年間を通じて実施し、こどもの地域農業への理解促進、交流が進むとともに、遊休農地の発生防止にも寄与している。



地域住民との連携による農空間保全

かんのんじ

観音寺地区農空間保全協議会（和泉市）

- 観音寺地区では、地元水利組合を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- 平成27年度に、地元水利組合と関係自治会で観音寺地区農空間保全協議会を設立し地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】

取組面積	13.27ha	[田5.08ha	畑8.19ha]	
農業用施設	開水路 1.9km	パイプライン0km	農道 1.2km	ため池 6箇所
主な構成員	水利組合、自治会			
交付金	316千円（R02）			

活動開始前の状況や課題

- 一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題となっていた。



取組内容

- 溝さらえや草刈り等を、自治会等と共に行っている。
- 地域住民との交流を図るため、農地の一部に共同で花を植え、地域の景観形成に寄与すると共に、交流活動に積極的に取り組んでいる。



取組の効果

- 溝さらえや草刈り等を、自治会等と共に行うことにより、担い手の負担軽減及び地域住民との交流が図られ、農地や施設への理解が進む。
- 都市農村交流活動に積極的に取り組むことにより、地域住民の参画・理解が促進される。



地域住民との連携による農空間保全

ぶつなみ地区農空間保全協議会（和泉市）

- 仏並地区は、平成17年に仏並土地改良区が設立され、土地改良区を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- 多面的機能支払交付金を活用するため、平成27年度に新たにぶつなみ地区農空間保全協議会を設立し、仏並地区の地域資源の適切な保全管理と健全な農空間が継続して育むことが出来るようになった。

【地区概要】			
取組面積	6.11ha	[田0.00ha	畑6.11ha]
農業用施設	開水路 2.7km	農道 0.9km	ため池 2箇所
主な構成員	土地改良区、水利組合、自治会		
交付金	122千円（R02）		

活動開始前の状況や課題

- 地元農家による営農が行われていたが、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の管理が課題。
- 整備完了後から約10年が経過し、一部施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題。



取組内容

- 溝さらえや草刈りに加え、ポンプ等の施設の補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- 地元保育園（きのみ保育園）の農業体験（野菜の苗植え、収穫）等、交流活動による地域住民の理解促進に取り組んでいる。



取組の効果

- 土地改良区が中心となって、きめ細やかな施設の軽微な補修に取り組むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。
- きのみ保育園の園児による農業体験を地域農家の指導により実施し、こどもの地域農業への理解促進、交流に寄与している。



地域住民との連携による農空間保全

都市的地域

かるべいけ

軽部池地区農空間保全協議会（和泉市）

- 本地区は、豊富な貯水量を有する軽部池を水源とした稲作地帯であるとともに、裏作として玉ねぎなどの畑作も盛んにおこなわれている。しかしながら、近年営農者の高齢化や後継者不足が課題となっている。
- 平成30年度に、地元自治会と土地改良区で軽部池地区農空間保全協議会を設立し地域住民と連携した地域資源の保全管理を図っている。

【地区概要】

取組面積	17.41ha [田 16.41ha 畑 1.00ha]
農業用施設	開水路 5.7km 農道 2.1km ため池 1箇所
主な構成員	自治会、土地改良区
交付金	512千円（R02）

活動開始前の状況や課題

- 農道等の一部施設で不具合・老朽化が生じているため、施設の軽微な補修が必要な状況であった。



取組内容

- 農業用ため池、水路及び農道の草刈りや泥上げなどの保全活動
- 軽微な補修を必要とする農道についての軽微な補修
- 地域住民との協働による植栽



取組の効果

- 草刈りや泥上げなどの活動による施設の適切な保全・維持管理
- 老朽化した施設の軽微な補修による保全管理
- 植栽を通じた地域交流・農村環境保全活動にも取り組み、地域ぐるみの農空間保全が図られている

